



2023年 2月 9日
第129号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川 一実
編集 情宣 担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



申16号 「2023年3月ダイヤ改正に関する申し入れ」 団体交渉を行う①

横浜地本は2月9日に表題の団体交渉を行いました。特徴的な議論は以下の通りです。

●ダイヤ改正に関わる教育・訓練や機器改修について

組合側	会社回答
改正までに関係社員への教育・訓練は実施が完了できるか？	<u>必要な教育・訓練は実施していく。</u>
横浜線での本線留置と、それに伴う番線変更でお客さま案内は大丈夫か？	<u>隣接線の列車間合いは10分以上ある。</u> 遅延等で不安があれば指令に連絡されたい。掲示等でお客さま案内を行っていく。
停目など運転設備の準備はどうか？	改正に間に合うよう整備を行っている。
出改札機器の対応はどうか？	準備を進めている。
車両や駅の案内表示はどうか？	改正に間に合うよう準備を進めている。相鉄・東急新横浜線に関しては車両の案内表示の整備は見送ることとしている。

●検証交渉で議論した駅における接続・交差支障の改善について

組合側	会社回答
【戸塚駅】列車順序と接続の見直し ・休日 2829Y と 1545E の発車順序を着順どおりに見直されたい ・初電 721M と 423S の接続について	駅管理者と意見交換して <u>見直しを行っている。</u> ・横浜駅の発順に合わせた順序になるよう、 <u>見直しを行った。</u> ・ダイヤ上は乗り換えを意図している。指令も気にしている。
【東神奈川駅】接続の見直し ・平日 1506K と 1630B の接続 ・平日 1615K と 1636A の不接続	どちらも乗り換えを意図したダイヤ設定としている。 <u>改正後の変更はない。</u>
【逗子駅】 ・休日 2553Y と 1759S の接続 ・休日 2555Y と 1829S の接続	<u>乗り換え時間を確保することが難しい</u> ため、時間を離して乗換ができないように設定している。
【平塚駅】入換の交差支障の解消 ・平日 2835Y の分割 ・平日 1868E の併合	・ <u>後続 1849E の時刻の見直しを行い、解消を図っていく</u> ・ <u>車両運用を見直し、併合列車の変更にて解消を図っていく</u>

●オフピーク定期券の導入に関する課題について

組合側	会社回答
輸送混乱により、オフピーク時間に入場できない場合の対応は？	指令からの旅客一斉情報により <u>振替輸送を指示した場合に、駅の操作にて改札機の「ピーク設定解除」を行う。</u> 振替輸送を行わないレベルの遅延では、S F から運賃分を引き去りとなる。
相互乗り入れ先の私鉄線内の駅で対応できるのか？	私鉄線内でもピーク設定解除の対応を依頼する。
入録エラーの場合の対応や精算のため、駅別ピーク時間一覧表が必要だ	<u>必要な情報は伝えていく。</u> 精算する場合は、お客さまからお話を伺い、S F の返金を行うこととなる。

その② に続く